

事業	補助金の名称	放課後児童クラブ運営補助金				担当部署	部名	福祉保健部	
070							課名	子ども課	
							電話	82-1953	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	児童福祉費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	児童福祉総務費
補助期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度								
根拠法令・要綱等	放課後子どもプラン推進事業実施要綱、放課後子どもプラン推進事業費補助金交付要綱								

事業目的	対象(交付先)	放課後児童クラブ運営主体(保護者会及び運営委員会)					
	意図(補助目的)	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校等に通う子ども(1~3年生)たちに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業であり、仕事と子育ての両立支援、児童の健全育成を目的としている。					
事業内容	手段(主な活動)	国の放課後子どもプラン推進事業の一事業であり、国の補助基準に基づき各運営主体に補助金を交付するとともに、国のガイドラインに沿って適正に運営され、更に質の向上が図られるよう必要な助言と指導を行っている。保護者ニーズに応じた運営を確立するために、放課後児童クラブの運営は、保護者や地域の運営委員会に移していく(運営の民営化)方針である。					
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他()			

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
				放課後児童クラブ運営の民営化	運営主体	5
放課後児童クラブ利用児童数	人	645	609	609	100.0	
放課後児童クラブ実施箇所数	箇所	12	13	13	100.0	

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	16,705 千円	(金額)	16,450 千円	(金額)	29,965 千円	
	(件数)	5 件	(件数)	5 件	(件数)	9 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	国の「放課後児童健全育成事業等実施要綱」に基づき、国(1/3)及び県(1/3)の補助を受け実施している。交付する補助金の上限額については、開設日数や児童数により基準額が定められており、その基準額を超える補助金は交付しない。				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	本事業は、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するとともに、共働き世帯を中心とする若い世代の就労と子育ての両立を支援するため行っている事業であり、公益性が高く、事業の実施は妥当であると考えている。
有効性	4	上記の「妥当性」でも記述したように、児童の健全育成と就労の支援という観点から、事業の実施は有効であると考えている。
効率性	4	指導員の人件費相当分を市から補助しており、その他の運営にかかる分については利用者負担金で運営されている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	本市では市民協働によるまちづくりを推進しており、また今後、公民館のコミュニティセンター化も予定され、地域の力がますます発揮されることが期待される。地域の人材を有効活用し、より強固な運営基盤を確保するためにも、放課後児童クラブの運営主体を地域に移管することについて検討していくことが必要であると考えている。

事業 071	補助金 の名称	さんさん広場事業運営補助金				担当 部署	部名	福祉保健部	
							課名	子ども課	
						電話	82-1953		
総合 計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算 科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	児童福祉費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	児童福祉総務費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		とやまっ子さんさん広場推進事業補助金交付要綱(県)							

事業 目的	対象 (交付先)	庄西元気っ子広場(通称:みつば広場)						
	意図 (補助目的)	地域の住民やボランティアなど地域の力を生かして、その地域の小学校1~6年生の児童の居場所づくりを進め、その健全育成と地域ぐるみの子育て支援体制の整備を目的としている。						
事業 内容	手段 (主な活動)	「放課後児童クラブ」と同様、補助金を交付するとともに、必要な助言と指導を行っている。						
		類型区分		団体運営費補助 格差是正補助	事業費補助 利子補給	施設等整備費補助 その他()	政策的補助	

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	さんさん広場利用児童数	人	17	19	19	100.0
	さんさん広場実施箇所数	箇所	1	1	1	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	1,000 千円	(金額)	500 千円	(金額)	750 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	県の「とやまっ子さんさん広場推進事業補助金交付要綱」に基づき、県(1/2)の補助を受け実施している。交付する補助金の上限額については、1日当たり5,000円と定められている。平成19年度までは委託料として支出していた。				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	本事業は、地域の力を生かして小学校の児童に遊びや生活の場を提供することによって、保護者の就労と子育ての両立を支援するため行っている事業であり、公益性が高く、事業の実施は妥当である。
有効性	4	上記の「妥当性」でも記述したように、児童健全育成と就労の支援という観点から、事業の実施は有効であると考えている。
効率性	3	世話人は、地域の人がボランティアで行っており、運営費についてはほとんどが市からの補助金で賄われている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	放課後児童クラブは、開設日数が250日以上必要であり、また、対象となる児童は原則として低学年(1~3年生)のみとなっている。これに対して、本事業は開設日数や対象児童など、地域の実情に合わせ柔軟に対応することができる。今後、放課後児童クラブとのすみ分けを明確にし、本事業の拡大を図っていきたいと考えている。

事業	子育て支援センター運営費				担当部署	部名	福祉保健部	
072	事務事業名					課名	子ども課	
						電話	82-1953	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち		予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり					項	児童福祉費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進					目	児童福祉総務費
事業開始・終了年度	平成 11 年度		~	平成 年度				
根拠法令・要綱等	地域子育て支援拠点事業実施要綱(H22からは、次世代育成支援対策交付金交付要綱)							
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	子育て支援の推進		

事業目的	対象 (誰を・何を)	乳児又は幼児及びその保護者
	意図 (どのような状態に)	子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。
事業内容	手段 (どのような方法で)	相互の交流を行う場所(センター型、ひろば型)を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図る。

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	子育て支援センターの年間利用者数	人	49625	50000	47986	96.0	50000	55000	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	子育てサークル数(公立分)	サークル	5	10	7	70.0	10
	出前件数(公立分)	件	6	30	34	113.3	45

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費		37,685 千円	50,741 千円	34.6
財源内訳	人件費		30,498 千円	30,124 千円	1.2	33,524 千円
	退職手当引当金相当額		4,420 千円	4,430 千円	0.2	4,930 千円
	事業コスト計		72,603 千円	85,295 千円	17.5	93,193 千円
	国県支出金		40,644 千円	48,939 千円	20.4	54,034 千円
	その他		22 千円	0 千円	皆減	50 千円
	一般財源		31,937 千円	36,356 千円	13.8	39,109 千円
	当該事務従事職員数		4.42 人	4.43 人	0.2	4.93 人

評価項目	点数	説明
必要性	4	今後は、市及び民間事業者で役割分担していく。
有効性	3	保護者の子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちの促進に大きな役割を果たしている。
達成度	3	今後とも、子育て支援活動を行う団体等と連携しながら、地域に向いた支援活動を展開する。
効率性	3	今後は、市及び民間事業者で役割分担をしながら、より効率的な実施に心がける。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	公立のセンター型については、保育園の民営化に伴い民間保育園に併設することにより移管する一方で、公立で存続させるセンターについては、既存のネットワークや子育て支援活動を行う団体等と連携しながら、地域に向いた地域支援活動を展開する。

事業	補助金の名称	不妊治療助成費				担当部署	部名	福祉保健部	
073							課名	子ども課	
							電話	82-1953	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	児童福祉費
	施策名(節)	第 1 節 子育て支援の推進						目	児童福祉総務費
補助期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度								
根拠法令・要綱等	射水市不妊治療費助成に関する条例								

事業目的	対象(交付先)	子どもが欲しくても妊娠できずに継続して不妊治療を受けている夫婦					
	意図(補助目的)	不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担を軽減し、少子化対策の充実を図ることを目的としている。					
事業内容	手段(主な活動)	不妊治療に要する費用のうちの保険診療費被保険者負担額並びに保険診療適用外の検査費及び診療費のうち以下の費用を助成対象として、年30万円を限度に助成している。 不妊治療のための検査に要する費用 排卵障害に対する薬物療法に要する費用 卵管障害に対する手術療法に要する費用 精管機能障害に要する費用 体外受精(胚移植法)に要する費用 人工授精に要する費用 顕微授精(透明帯開孔法、細胞質内精子注入法)に要する費用					
		類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他()			

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	妊娠率	%	26.09	27.59	27.59	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	15,393 千円	(金額)	13,436 千円	(金額)	15,742 千円	
	(件数)	89 件	(件数)	69 件	(件数)	87 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	不妊治療に要する費用(年30万円を上限)				300 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	社会的な問題となっている少子化に対する施策であり、事業の実施は妥当である。
有効性	4	妊娠の報告も多数あり、少子化対策として貢献している。
効率性	4	多額になる不妊治療の一部助成であり、効率性がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	市総合計画の中において掲げている施策であり、少子化対策として重要な事業であることから、今後とも本制度を継続していくことが必要であると考えている。

事業 074	事務事業名	子ども及び妊産婦医療助成費				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	子ども課	
						電話	82-1953		
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	児童福祉費
	施策名(節)	第 1 節 子育て支援の推進						目	母子福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		射水市子ども医療費助成に関する条例、射水市妊産婦医療費助成に関する条例							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	子ども医療 ... 小学生修了までの者を対象、妊産婦医療 ... 妊産婦のうち、妊娠高血圧症候群、糖尿病、貧血、産科出血、心疾患及び切迫早産のため医療を受ける者							
	意図(どのような状態に)	子ども医療 ... 子どもの保健の向上と福祉の増進に資することを目的とする。 妊産婦医療 ... 母子の健康の保持及び増進を図ることを目的とする。							
事業内容	手段(どのような方法で)	子ども医療 ... 入院・通院とも保険診療本人負担分を市が負担する。 妊産婦医療 ... 上記「意図」欄に掲げた疾病に対する保険診療本人負担分を市が負担する。							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	助成件数(子ども及び妊産婦医療費)	件	156718	155088	155088	100.0	153590	143155	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	受給資格者数(子ども医療費)	人	11954	11244	11244	100.0	9975
	受給資格者数(妊産婦医療費)	人	487	329	329	100.0	400

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費		358,408 千円	346,279 千円	3.4
財源内訳		人件費	4,416 千円	5,100 千円	15.5	5,100 千円
		退職手当引当金相当額	640 千円	750 千円	17.2	750 千円
		事業コスト計	363,464 千円	352,129 千円	3.1	309,652 千円
		国県支出金	72,538 千円	62,031 千円	14.5	70,162 千円
		その他	9,970 千円	8,005 千円	19.7	9,600 千円
		一般財源	280,956 千円	282,093 千円	0.4	229,890 千円
	当該事務従事職員数	人		人		人

評価項目	点数	説明
必要性	4	市総合計画の筆頭に掲げている事業であり、安心して子どもを生み育てる環境づくりに必要である。
有効性	3	疾病の重篤化を未然に防ぐためにも、医療を受けやすい環境を整えることは有効である。
達成度	4	受診件数はほぼ横ばいである。
効率性	3	本制度を継続していくためにも、安易な受診をしないよう市民への周知啓発が必要である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	今後とも適正な受診を呼びかけ、本制度を継続して実施していくことが必要であると考えている。

事業 075	事務事業名	3か月児健康診査 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	次世代育成計画		

事業目的	対象 (誰を・何を)	生後3~4か月児						
	意図 (どのような状態に)	乳児の異常を早期に発見して適切な処置をとると共に保護者の育児について正しい理解を深め、健康の保持増進に努める。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	集団検診(射水市民病院、小杉保健センター、大門保健センター) 月3会場 延36回 問診・身体計測・小児科診察・整形外科診察、股関節超音波検査・保健相談・母乳相談・集団指導						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	健康診査受診率	%	99	100	99.1	99.1	100	100	
	健診未受診者把握状況	%	100	100	85.7	85.7	100	100	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	子育てアンケートで「子育てに自信がない」減少	%	20.2	10	18.9	189.0	10
	子育てアンケートで「子育てが楽しい」増加	%	98.7	100	98.8	98.8	100

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費	5,239 千円	3,731 千円	28.8	3,678 千円
財源内訳	人件費	4,071 千円	4,012 千円	1.4	4,012 千円	
	退職手当引当金相当額	590 千円	590 千円	0.0	590 千円	
	事業コスト計	9,900 千円	8,333 千円	15.8	8,280 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	9,900 千円	8,333 千円	15.8	8,280 千円	
	当該事務従事職員数	0.59 人	0.59 人	0.0	0.59 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	乳児の異常の早期発見や早期対応をするために必要であり、当初の目的は達成されている。
有効性	4	健診受診率が高く、未受診理由の把握もできている。
達成度	3	健診受診率が高く、未受診理由の把握もできており、育児不安の軽減に繋がっている。
効率性	4	最低の従事人数で実施し、コスト削減に努めている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	この健診は乳児の異常を早期発見し適切な処置をすることが大切であり、より一層質の高いサービスの提供に努める

事業 076	事務事業名	1歳6か月児健康診査 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	次世代育成計画		

事業目的	対象 (誰を・何を)	1歳6ヶ月児						
	意図 (どのような状態に)	健康診査において、身体発育はもとより、行動発達、聴覚、軽度の心身障害や神経学的異常の早期発見、早期支援に努める。離乳食から幼児食への移行、むし歯の予防、事故防止にも重点を置いて実施している。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	集団健診(新湊保健センター・小杉保健センター・大門保健センター) 月3回会場 延36回 問診、身体計測 小児科診察、歯科診察、歯科相談、心理相談 保健相談、栄養相談						

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	健康診査受診率	%	98.7	99	99.1	100.1	99.2	100	
	健康診査未受診者把握状況	%	100	100%	86.00%	86.0	100	100	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	身体面、精神面の要精密検査、要観察児の事後フォロー人数	人	185	200	219	109.5	200

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	2,697 千円	2,099 千円	22.2	2,809 千円
財源内訳	人件費	4,071 千円	4,012 千円	1.4	4,012 千円	
	退職手当引当金相当額	590 千円	590 千円	0.0	590 千円	
	事業コスト計	7,358 千円	6,701 千円	8.9	7,411 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	7,358 千円	6,701 千円	8.9	7,411 千円	
当該事務従事職員数		0.59 人	0.59 人	0.0	0.59 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	運動機能、言動、社会性、生活習慣の自立の発達を助長し、阻害因子を除くことが目的であり、早期発見、早期支援をすすめるうえでも必要である。
有効性	4	医療以外の保健、福祉等の専門職にスムーズに連携できる体制づくりに努め、継続的に実施している。
達成度	3	健診受診率も高く、精密検査受診状況や事後フォロー体制が他の母子保健事業と連動し効果を上げている。
効率性	4	対象数にあわせて、歯科医師、保健師、看護師、臨床心理士、歯科衛生士の確保に努め、効率化を図っている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	この健診は単独で独立したものでなく、乳幼児の発達段階で継続した流れの中で捉えるものであり継続して実施する。

事業 077	事務事業名	3歳6か月児健康診査 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82-1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	次世代育成計画		

事業目的	対象 (誰を・何を)	3歳6か月児						
	意図 (どのような状態に)	3歳児は人格が形成される大切な時期であり、早急に対応が必要な障害等が発見されやすく、早期に養育へつなげる。又、虐待の恐れのある親子や育児不安のある母親を早期に発見し対応していく。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	集団検診(新湊保健センター、小杉保健センター、大門保健センター) 月3回会場 延36回 問診、身体計測、尿検査、小児科診察、歯科診察、視力聴力検査 歯みがき指導、心理相談、保健相談、栄養相談						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	健診受診率	%	97.7	100	97.7	97.7	98	100	
	健診未受診者未把握状況	人	20	35	35	100.0	20	20	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	身体面、精神面での精検受診と事後指導フォローされている	人	208	200	180	90.0	200

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	3,099 千円	2,489 千円	19.7	3,165 千円
	人件費	4,071 千円	4,012 千円	1.4	4,012 千円	
	退職手当引当金相当額	590 千円	590 千円	0.0	590 千円	
	事業コスト計	7,760 千円	7,091 千円	8.6	7,767 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	7,760 千円	7,091 千円	8.6	7,767 千円	
当該事務従事職員数		0.59 人	0.59 人	0.0	0.59 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	医師会、歯科医師会の協力も一般診査を実施し必要な児には精密検査を実施している。就学まで関係機関と連携できる体制をとり、早期支援、早期療育に繋がっており重要な健診である。
有効性	4	健診の結果、身体面、精神面での障害の恐れのある児童について、精密検査を実施し障害の早期発見、早期支援、早期療育に努め、体制の確立を図っている。
達成度	3	発見された異常者に対しては、適切な治療と指導を行い、就学まで医療機関、厚生センター療育施設、保育園、幼稚園の協力して実施している。
効率性	4	対象数に合わせた、スタッフの配置を実施し、効率化を図っている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	子どもを取り巻く環境の変化や保育者の多様化したニーズに対応できるよう健診体制の整備に努めて行く。

事業No.	事務事業名	妊婦一般健康診査・精密検査・乳児一般健康診査 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
078							課名	健康推進課	
							電話	82-1954	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度	平成		年度	~	平成	年度			
根拠法令・要綱等	母子保健法第13条								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	次世代育成計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	妊産婦・乳児						
	意図(どのような状態に)	妊産婦や乳児の健康状態を把握し、流産、妊娠中毒症や母子の障害の発生を予防すること。						
事業内容	手段(どのような方法で)	医療機関に委託して妊婦一般健康診査(15回)、妊婦精密健康診査(随時)、乳児健康診査(2回)を実施する。安全な分娩をするため、妊婦の健康管理と異常の早期発見のため実施している。また、35歳等以上の妊婦に超音波検査を実施する。乳児で精密検査の必要なときは精密検査を実施している。						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
①	妊婦一般健康診査の平均受診率	%	93.9	70	79.1	113.0	80	80	
②	乳児一般健康診査の平均受診率	%	71.6	72	74.7	103.8	75	80	
③									

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
①	妊娠11週以下での妊娠届出率	%	48.5	60	79.2	132.0	80
②							
③							

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	39,548 千円	67,543 千円	70.8	80,229 千円
財源内訳	人件費	1,035 千円	1,020 千円	▲ 1.4	1,020 千円	
	退職手当引当金相当額	150 千円	150 千円	0.0	150 千円	
	事業コスト計	40,733 千円	68,713 千円	68.7	81,399 千円	
	国県支出金	5,752 千円	18,793 千円	226.7	28,316 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	34,981 千円	49,920 千円	42.7	53,083 千円	
当該事務従事職員数		0.15 人	0.15 人	0.0	0.15 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	妊娠出産に関する安全性を確保しつつ、妊娠期間中の種々の苦痛や不安感の解消・軽減するための社会的な支援が求められている。
有効性	4	妊娠期間中に健康診査を実施することで、より安心な出産ができる環境づくりに大いに貢献している
達成度	4	妊婦健診や乳児検診にかかる経済的負担の軽減を図り、健康診査を受診できる機会を確保している。
効率性	4	経済的負担の軽減を図り、妊婦や乳児が健康診査を受診できる機会を確保することは、公共関与として妥当である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	健診の受診率向上に努めるとともに、健診後のフォローの充実を図る。

事業No.	補助金の名称	妊婦健診県外里帰り助成				担当部署	部名	福祉保健部	
079							課名	健康推進課	
							電話	82-1954	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
補助期間	平成 21 年度 ~ 平成 年度								
根拠法令・要綱等	母子保健法第13条								

事業目的	対象(交付先)	市内在住の妊婦で、県外の医療機関・助産所で妊婦健康診査を受診する方						
	意図(補助目的)	妊婦の健康の保持増進並びに異常の早期発見及び早期治療を図るため、県外に医療機関や助産院で、妊婦健診を実施した人に対して、その費用一部を負担し経済的支援を行う。						
事業内容	手段(主な活動)	分娩の前日までに受診した健康診査分について費用の助成をする 助成方法:償還払い						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
①	県外分の妊婦一般健康診査助成申請数	件	-	40	40	100.0
②						
③						

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	千円	(金額)	千円	(金額)	725 千円	
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	40 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	○ 定額補助	富山県内の医療機関との契約金額とし、委託金額に満たないときは、少ない方の金額とする。				16,460円、5,300円 千円	
定率補助	※上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	妊娠出産に関する安全性を確保するために、継続的に妊婦健診を受け不安感の解消・軽減のための社会的支援が求められており、重要な事業であり、県内全市町村が実施している。
有効性	4	県外に里帰り中の妊娠期間に健康診査を実施することで、より安心して出産できる環境づくりに大いに貢献している。
効率性	4	経済的負担の軽減を図り、健康診査を受診できる機会を確保することは、公共関与して妥当である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	安全な出産を促し、母子の障害の発生を予防するため、妊婦の健康管理として、継続的に実施していく。

事業	事務事業名	新生児訪問指導事業				担当部署	部名	福祉保健部	
080		(母子保健推進費)					課名	健康推進課	
							電話	82 - 1954	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度	平成		年度	~	平成	年度			
根拠法令・要綱等	母子保健法								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画				

事業目的	対象(誰を・何を)	市内在住または里帰り等で市内に滞在している生後28日未満の新生児						
	意図(どのような状態に)	新生児の異常及び疾病の早期発見を目的とする。						
事業内容	手段(どのような方法で)	市民から送られてくる出生連絡票を基に、市から委託した保健師、助産師が生後28日未満の新生児に訪問指導を行う。 新生児の身体計測、や保育状況を観察するとともに産婦・保育者の育児相談等に対応する。						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	出生数	人	809	800	800	100.0	800	800	
	訪問指導依頼件数	件	394	400	387	96.8	400	400	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	子育てが楽しいと答えた人の割合(3ヶ月健診でのアンケート調査結果)	%	98.7	99	98.9	99.9	99

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費	1,167 千円	1,262 千円	8.1	1,343 千円
	人件費	1,518 千円	1,496 千円	1.4	1,496 千円	
	退職手当引当金相当額	220 千円	220 千円	0.0	220 千円	
	事業コスト計	2,905 千円	2,978 千円	2.5	3,059 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	2,905 千円	2,978 千円	2.5	3,059 千円	
	当該事務従事職員数	0.22 人	0.22 人	0.0	0.22 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	子どもの安らかな発達の促進と育児不安の軽減のため育児支援とのひとつとして必要である。
有効性	4	虐待予防をはじめ、産婦や保育者の育児不安等への対応ととして、事業実施は大いに貢献している。
達成度	4	訪問実施率も高く、母親の育児不安への対応や地域の子育て支援との連携が図られる。
効率性	4	保健師、助産師による訪問実施は高く、虐待防止や育児負担の軽減に繋がっている

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	虐待予防や子どものすこやかな成長を促すためにも必要な事業であり、保健師、助産師の確保も含めて継続して実施する。

事業 081	事務事業名	母子健康手帳交付 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法第16条							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	市内在住者で妊娠の届出をした者
	意図 (どのような状態に)	市内在住者で妊娠の届出をしたものに対して、母子健康手帳を交付する。
事業内容	手段 (どのような方法で)	妊娠したものは、すみやかに、市町村長に妊娠の届出をするようにしなければならない義務があり、届出をした者に母子健康手帳を交付する(5保健センターにて交付)

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	母子健康手帳届出数	人	790	800	777	97.1	800	800	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	妊娠11週未満の届出率	%	48.5	60	79.2	132.0	80

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	283 千円	222 千円	21.6	146 千円
	人件費	138 千円	136 千円	1.4	136 千円	
	退職手当引当金相当額	20 千円	20 千円	0.0	20 千円	
	事業コスト計	441 千円	378 千円	14.3	302 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	441 千円	378 千円	14.3	302 千円	
	当該事務従事職員数	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	妊産婦や乳幼児を行政が的確に把握し、これによって必要な保健指導や健康診査を行い母子保健の正しい知識を周知徹底させるために必要である。
有効性	4	母子健康手帳は、出産及び育児に関する一貫した健康記録であるとともに、乳幼児の保護者に対する育児書として重要である。
達成度	4	妊娠11週以内の早期妊娠届出は年々増加している。
効率性	4	市独自で母子健康手帳を作成すると高価となり、市販のもので対応している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	妊婦自らの母性としての自覚を高め周囲の理解を早く得るために、早期の届出は大切なことであり、今後とも早期届出についての啓発をしていく。

事業No.	事務事業名				担当部署	部名	福祉保健部		
082	母親教室 (母子保健推進費)					課名	健康推進課		
						電話	82-1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度	平成		年度	~	平成	年度			
根拠法令・要綱等	母子保健法								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画				

事業目的	対象 (誰を・何を)	市内に在住する妊婦						
	意図 (どのような状態に)	妊婦に対して、妊娠・分娩・産褥の各期を通して母体の健康維持と新生児の保育について、正しい知識を習得させることを目的とする。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	1クール2日年12回開催(3保健センター) 講義と実技指導(産婦人科医師、助産師、保健師、栄養士、歯科衛生士による) 母子保健関係諸制度の紹介 個別相談						

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
①	教室参加数(延人数)	人	140	150	131	87.3	150	180	
②									
③									

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
①	子育てが楽しいと答える人の割合(3か月児健康診査)	%	98.7	99	98.9	99.9	99
②							
③							

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	275 千円	211 千円	▲ 23.3	308 千円
	人件費	690 千円	680 千円	▲ 1.4	680 千円	
	退職手当引当金相当額	100 千円	100 千円	0.0	100 千円	
	事業コスト計	1,065 千円	991 千円	▲ 6.9	1,088 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,065 千円	991 千円	▲ 6.9	1,088 千円	
	当該事務従事職員数	0.10 人	0.10 人	0.0	0.10 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	妊婦の妊娠に関する自覚をさらに促し、健康の保持・増進に繋がる生活態度や生活習慣づくりができるよう動機付けをすることは重要である。
有効性	4	核家族や少子化の社会の流れの中で、出産や子育てを身近に経験する機会が少ない妊婦が増えてきており必要な事業である。
達成度	3	講義だけでなく、実習、情報交換、意見交換等グループワークを取り入れ仲間づくりに努めており、参加者にとっては身近な内容であり好評を得ている。
効率性	4	妊婦が地域に生活していることを考慮し、地域に住む医師や助産師等の協力を得ている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	妊婦自身が積極的に教室に参加して自分自身の健康上の問題に気づき、行動変容がなされることが重要であり、対象者の生活状況、社会背景等を包括的に把握し指導に生かしていく。

事業 083	事務事業名	パパの育児教室 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82-1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	次世代育成計画		

事業目的	対象 (誰を・何を)	妊婦とその夫と乳児のいる夫婦						
	意図 (どのような状態に)	妊産婦の日常生活や育児についての正しい知識を普及し、子育てのパートナーとして、あるいはサポートする人としての家族の協力の重要性を認識させる。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	もうすぐパパママ教室:体験型教室(3保健センター)年10回 (講義)新生児、乳児の特性について(実技)沐浴指導、パパの妊婦体験 栄養講義・調理実習 交流会 新米パパママ教室 メンタルヘルスの講義 親子ふれあい体操						

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	もうすぐパパママ教室参加状況	人	219	220	220	100.0	230	300	
	新米パパママ教室参加状況	人	208	220	199	90.5	230	300	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	父親の育児参加率	%	89.5	90	90.4	100.4	91

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費	324千円	389千円	20.1	307千円
財源内訳	人件費	1,380千円	1,360千円	1.4	1,360千円	
	退職手当引当金相当額	200千円	200千円	0.0	200千円	
	事業コスト計	1,904千円	1,949千円	2.4	1,867千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,904千円	1,949千円	2.4	1,867千円	
	当該事務従事職員数	0.20人	0.20人	0.0	0.20人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	妊娠期間や乳児期は母性、父性をはぐむ貴重な時期であり、妊娠や出産をきっかけに夫とともに日常生活を振り返り、よりよい生活が送れるよう支援するために重要である
有効性	4	家事経験も非常に少ないまま結婚して、親になる夫婦が増えてきており、妊娠や出産、育児に対する情報を提供し母親と父親になる日を思い巡らしたり、育児の夢が広がるよう支援をするためには大変効果的である。
達成度	4	教室終了後のアンケート調査結果より、大半の参加者より「参加してよかった」との回答を得ている。
効率性	4	多くの方の参加が得られるよう、土日の休日に開催している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	価値観の多様化により、対象者のニーズに合わせた内容の教室に努めていく。

事業 084	事務事業名	育児相談・母乳相談 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
							電話	82-1954	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成 年度		~	平成 年度				
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	乳幼児とその保育者、授乳中の母親						
	意図 (どのような状態に)	乳幼児の発達発育の確認や日常生活指導と母乳育児状況の確認と助言						
事業内容	手段 (どのような方法で)	育児相談:びよびよ相談 各保健センター年6回づつ延30回 母乳相談:びよびよ相談日、3ヶ月健診日に同日実施 年66回 スタッフ:保健師、栄養士、助産師、看護師、母子保健推進員						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	育児相談参加数	人	1805	1500	1492	99.5	1500	1800	
	母乳相談参加数	人	245	280	275	98.2	300	330	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	母乳育児の割合(3か月児)	%	83.8	85	86.7	102.0	87
	子育てを楽しいと答える人の割合(1歳6か月児)	%	97.6	98	97.8	99.8	98

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	1,626 千円	1,047 千円	35.6	1,457 千円
財源内訳	人件費	7,728 千円	7,616 千円	1.4	6,664 千円	
	退職手当引当金相当額	1,120 千円	1,120 千円	0.0	980 千円	
	事業コスト計	10,474 千円	9,783 千円	6.6	9,101 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	10,474 千円	9,783 千円	6.6	9,101 千円	
当該事務従事職員数		1.12 人	1.12 人	0.0	0.98 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	核家族化が進み、地域での育児をしている母親同士のつながりが希薄化している中で、育児不安を抱えている保育者が増えてきており、育児不安の軽減と具体的な解決のために必要である。
有効性	4	育児への不安の軽減や心配事の解決とともに、参加者同士の情報交換と仲間づくり、交流の場となっている。
達成度	3	参加者のニーズに対応できるよう、離乳食実施、おやつ指導、絵本の読み聞かせ等内容の充実に努めており、多数の参加を得ている。
効率性	4	地域の身近なところで開催し、参加しやすい体制にしている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	参加者の来所目的が多様であり、それぞれの目的に従ったうえで、より健康な日常生活が過ごせるよう支援していく。

事業 085	事務事業名	要観察児教室 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	各種乳幼児健診、家庭訪問、育児相談等で、心身の発達の遅れが心配な乳幼児とその保護者							
	意図 (どのような状態に)	心身の発達等について心配のある乳幼児に対し、相談や遊びを通して身体の発達、知的活動、情緒の安定、社会生活における調和的発達を促し、すこやかな成長を支援する。							
事業内容	手段 (どのような方法で)	のびのび相談(心理相談)12回 認定心理相談員、保健師 (言葉の相談)12回 スタッフ:言語療法士、保健師							
		わくわく広場(療育相談)1会場年10回 スタッフ:作業療法士、保健師、栄養士、保育士							
		処遇検討会 15回 スタッフ:療育施設の保育士 保健師							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
				要観察児相談実施回数	回	37		40	36
要観察児相談参加数	人	167	170	147	86.5	170	200		

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
				要観察、要精密検査対象児数(1歳6か月児)	人	185	
要観察、要精密検査対象児数(3歳6か月児)	人	208	200	180	90.0	200	

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	直接事業費		460千円	351千円	23.7	290千円
	人件費		3,933千円	3,876千円	1.4	3,876千円
	退職手当引当金相当額		570千円	570千円	0.0	570千円
	事業コスト計		4,963千円	4,797千円	3.3	4,736千円
	財源内訳		千円	千円		千円
	その他		千円	千円		千円
	一般財源		4,963千円	4,797千円	3.3	4,736千円
当該事務従事職員数			0.57人	0.57人	0.0	0.57人

評価項目	点数	説明
必要性	4	乳幼児の心身の健やかな成長を支援することにより、保護者自身の育児や就園、就学等についての悩みや不安の軽減や虐待予防にも繋がっている。
有効性	4	専門職種がスタッフに加わることで効果的な支援が継続的になされている。
達成度	3	関係機関との連携により、早期発見早期支援に繋がっている。
効率性	4	発達障害の疑いのある児に対して適切な支援をするため、関係機関による意見交換や事例検討を実施している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	乳幼児期から将来を見越した切れ目のない育児支援ができるように努めていく

事業 086	事務事業名	母子保健推進員活動				担当部署	部名	福祉保健部	
		(母子保健推進費)					課名	健康推進課	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	電話	82 - 1954
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						款	衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						項目	保健衛生費 母子尾衛生費
事業開始・終了年度		平成 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	妊産婦・乳幼児							
	意図(どのような状態に)	妊婦や乳幼児を持つ育児中の母親が各種保健サービスや子育て支援サービスについて知り、必要なサービスについて知り、必要なときに利用することができることで育児不安が解消できる。							
事業内容	手段(どのような方法で)	市長から委嘱された母子保健推進員が地域の妊婦や2~3か月児の家庭訪問を行い、保健サービス・子育て支援サービスの紹介や育児不安などの把握に努め、市とのパイプ役として育児支援を行う。 妊婦訪問、乳児訪問、びよびよ教室での絵本の読み聞かせ、新米パパママ教室への協力、自主活動、研修会の企画、参加							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	訪問件数	件	1360	1640	1347	82.1	1640	1640	
	母子保健推進員研修会参加数	人	143	150	127	84.7	150	300	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	夫以外に育児の協力、相談者がいる人の割合	%	96.4	97	96	99.0	97
	3か月児健康診査受診率	率	99	99.5	99.1	99.6	99.5
	母子保健推進員数	人	100	99	99	100.0	100

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	891 千円	874 千円	1.9	855 千円
財源内訳	人件費	1,518 千円	1,496 千円	1.4	1,496 千円	
	退職手当引当金相当額	220 千円	220 千円	0.0	220 千円	
	事業コスト計	2,629 千円	2,590 千円	1.5	2,571 千円	
	国県支出金	90 千円	90 千円	0.0	90 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	2,539 千円	2,500 千円	1.5	2,481 千円	
当該事務従事職員数		0.22 人	0.22 人	0.0	0.22 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	地域の身近なところで、子育て中の母親のよき相談者として活動を行っており、地域ぐるみの子育て支援の役割を担っている。
有効性	4	核家族化や育児経験不足等から、育児不安の強い母親やうつ状態の母親の早期支援に繋がっている。
達成度	3	子育て中の母親やその家族から健診や各種サービスに関する質問が多い。絵本の読み聞かせや自主活動においても参加者から好評を得ている。
効率性	4	育児不安から来る虐待防止や産後のうつの予防、早期発見のため、国では「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を創設し、市ではこの事業の中で実施している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	研修等を企画し、母子保健推進員の資質向上に努める。

事業	ブックハート事業				担当部署	部名	福祉保健部		
087	事務事業名 (母子保健推進費)					課名	健康推進課		
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成 19 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等									
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	乳児
	意図 (どのような状態に)	絵本を通して、母と子のコミュニケーションを深め、こころの健やかな成長を育む。
事業内容	手段 (どのような方法で)	絵本パックの配布: 3か月児健康診査会場で絵本及び読み聞かせパンフレット、絵本紹介パンフレットを配布 育児相談で、配布した絵本を使い、母子保健推進員が読み聞かせを実施する

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	育児相談「読み聞かせ」参加数	人	533	550	579	105.3	600	600	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	子育てが楽しいと答える人の割合	%	97.2	98	98.1	100.1	99

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	1,329 千円	1,307 千円	1.7	1,134 千円
	人件費	276 千円	204 千円	26.1	204 千円	
	退職手当引当金相当額	40 千円	30 千円	25.0	30 千円	
	事業コスト計	1,645 千円	1,541 千円	6.3	1,368 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,645 千円	1,541 千円	6.3	1,368 千円	
	当該事務従事職員数	0.04 人	0.04 人	0.0	0.04 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	乳児期からのことばとこころを育み、保護者も楽しい子育ての時間がもてるよう、絵本を渡すとともに読み聞かせの機会を提供する
有効性	4	母子保健推進員が、配布した絵本を使った読み聞かせをすることで、絵本に自然に親しみを持てる。
達成度	4	核家族化とともに母親の孤立化が問題となっている中で、絵本を通して、母と子のかかわりが深まる。
効率性	4	育児不安を抱える保護者に対して、絵本を使うことで自然に子どもとコミュニケーションが図れる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	大島絵本館、母子保健推進員の連携により、より事業を効果的に運営できる